

星屑

No.323
Feb. '02



新年会
2002年1月3日
山本屋食堂にて

熊本県民天文台

新年会 in 山本屋 2002年

中島 尚

今年も例年通りに山本屋食堂で天文台の新年会が開催されました。今年は、星屑のお知らせと、メーリングリストでの呼びかけだけでしたから、参加者が集まるのかどうか心配でした。しかし、下の写真のように14名の参加があり盛況でした。

参加者の名前は下の写真の名簿を見てください。いつものメンバーや懐かしい仲間が集まっています。みんなそれぞれ人生の年輪を重ね、いい顔になってきているような気がします。

さて、1月3日午後3時、いよいよ新年会の開会です。今年は、くじで席を決め、1番を引いた長谷さんの乾杯の音頭で始まりました。艶島台長の挨拶では、今年行われる予定の20周年記念「後藤みどり」コンサートについての計画が披

露されました。何度も星屑で紹介されていますが、どんどん発想がふくらんできています。なんだか素晴らしいものが作れそうな気がしています。

しばらく歓談した後、それぞれの近況報告へと移りました。やはり、昨年の獅子座流星群に関する話題がおおく、みなさんそれぞれ大変興味深い話を披露されました。

その後、樽酒の披露や抽選による景品の贈呈などがあり、和やかな雰囲気の中で終了しました。2次会と称して飲んでいた人も居たようですが、それぞれ帰途につきました。

来年も計画いたしますので、皆さんもぜひ参加してみませんか？時には顔を合わせるということも必要かもしれませんね！



**宮本さんは
ますますお元気！**



**近況報告に
興味は尽きず！**



**みんな
いい親父に..！**



**最後の締めは
やっぱり宮本さん！**



熊本県民天文台開設から、満20年。これからも楽しみ続ける天文台として

20周年を迎えて

五嶋みどりコンサート

今年は、20周年。7月27日（土）に開催することが決まった「五嶋みどり コンサート」をメインイベントに、CD-ROMの制作などいくつかのプロジェクトが動いていますが、その最近の動きをレポートします。

文化センターの予算取り

A1ノビ サイズまで印刷できる、顔料インクのインクジェットプリンターと、3000ANSIルーメンのプロジェクターなどを購入できれば、イベント用のポスターや展示物（ディスプレイ）を自前で制作でき、低予算で自由に雰囲気演出できる、と提案、予算獲得に向け動いています。

これらの機材と、〇〇万円の予算で、文化センターのロビーやホールにディスプレイを制作し、「星空」のイメージを演出。併せて、県民天文台の20年間の歩みを、ポスターサイズ（A1）のたくさんの写真にして、展示する計画です。

小惑星「城南」(JONAN)

先日、ようやく命名申請文（英文）を仕上げました。その後の進行状況などについては、寿郎さんから報告していただきます。

（英文の一部に「チョットね?」という部分があったようですが、「申請の手続きは進んでいる」と、新年会の会場で寿郎さんから報告を頂いています。期待して待ちましょう。）

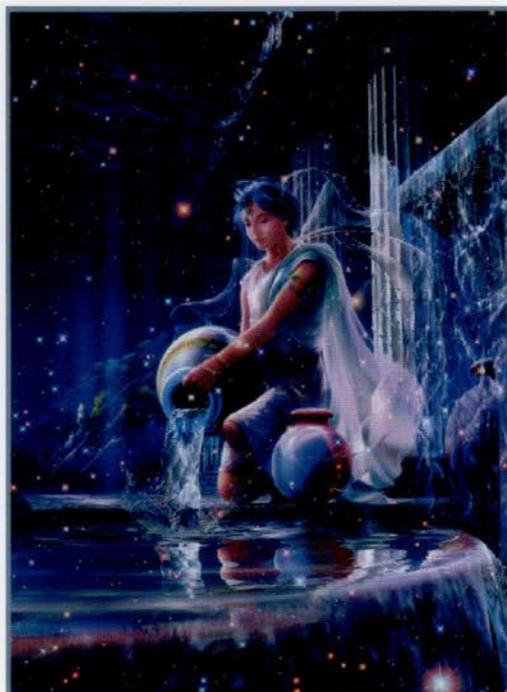
加賀谷さんの「星座絵」

天文雑誌＝「星ナビ」の表紙絵で有名な、加

賀谷 穰 氏に昨年末お会いして、「五嶋みどりコンサート」会場の「火の君総合文化センター」で、ロビーやホールへの通路などに、氏の星座絵を展示して、コンサートに訪れる方々に「星の世界」をアピールできないか?と相談しました。

「協力します!」という返事をいただけただので、これから具体的な取り組みを考えます。

「1日だけの単発ではなく・・・」という氏のアドバイスに従って文化センターと協議したところ、「1週間でも、展示してもらって結構です」という返事。加賀谷氏のイラストで、ロビーやホールへの通路が埋められると、一般の方の星空へのイメージは大きく広がり、当日の特別なコンサートの雰囲気は、大きく盛り上がることでしょう。だんだんイメージがふくらんできます。



メガスター（超プラネタリウム）

皆さん、メガスターについて聞いたことがあるでしょうか？

大平さんというアマチュアの方が、こだわりを持って、個人で自作してしまった恐るべきプラネタリウムです。

何しろ、天の川を「ボーツとした光」で表現するのは誤り、という発想で、一つ一つの小さな恒星を投影しているとか。投影された天の川部分を双眼鏡で見ると、見事に星に分解して見えるそうです。だから「メガスター」（百万個の星）。



この「メガスター」を、五嶋みどりコンサート当日に、火の君総合文化センターで上演しようと言うアイデアを、会員の仲山さんから頂きました。

早速あちこち連絡し、五嶋みどりの後援団体＝ソニーミュージック財団が連絡役を果たして下さることに。（製作者の大平さんは、ソニーの社員だそうです）

7月の予定はまだ全く白紙の状態、来られるとも、来られないとも分かりませんが、2月か3月頃にはある程度の状況が分かるらしいです。実現すると楽しいですね！

7月27日の午前と午後、数回の上演ができればと思っています。このメガスターの上演には直径10mのドームが必要で、移動式のエアドームを使用するそうです。エアドームって何だろう？ですか……。遊園地などにある、空気を送り込んでふくらます、怪獣などの形をしていて中で子供達が飛び跳ねたりして遊ぶ遊具を見たことが

ありますよね？あれです。空気を送り込んでふくらますドームなんです。

最初は、文化センターのロビー内に設置できないかと測ってもらったら「チョット無理」、（直径10mは結構でかい!）それで、もし来てもらえるなら、文化センター正面玄関前（アイシン精機側）広場への設置を予定しています。

コンサートも楽しみだけど、メガスターのボランティアスタッフに応募して、実際にメガスターにさわって、上演する側になってみたいですね！

売店の設置ができれば・・・

売店の設置について、文化センターの了解は得ています。誰か主導して下さる方がいて、星グッズなどの売店を出せると良いな、と思います。たぶん、SONY財団側で五嶋みどり関連のCDや、本なども販売されると思いますので、ロビーでは、天体写真やCD、20周年記念品など、いろいろ販売できると良いですね。

こんなイベントでは、「お土産」があることは大切なことでしょう。

こんなことを考えていると、ちょっと前に、清和でのスターフェスタを自分たちで企画し運営していた頃を思い出しました。星グッズの販売にもいろいろノウハウがあって、特別な才能を持ったスタッフも育てていましたよね！

「あの時のように!」とまではいなくても、結構楽しい売店が出せるのではないのでしょうか？

7月27日まで

まだまだ先だ、と思っているうちに年が改まり、期日が迫ってきます。チケットの販売（抽選になる予定）についても協議が必要です。具体的な準備も急がねばなりません。いろんなアイデアをお寄せ下さい。思いっきり楽しくて自慢できる記念行事になるよう、あと180日を一気に駆け抜けていきましょう！

皆さん方のご協力をよろしくお願いします。

星の停車場 (14) オリオン座

土山由紀子

熊本ではそろそろ黄砂が心配な季節になってきますが、2月、冷たく澄んだ大気の向こうには1年で最も豪華な星空が広がっています。星座の王様とも讃えられるオリオン座は、そんな2月を象徴するかのように月半ばの15日20時に子午線を通過します。

特徴的な三つ星とそれを囲む四つの星で象られるこの星座は、古代から世界各地で注目され様々な神話を生んできました。ギリシア神話によると、オリオンは海神ポセイドンと女人の国アマゾンの女王エウリュアレーの間に生まれたハンサムな巨人で狩りの名人。月と狩りの女神アルテミスの愛人でしたが、オリオンを嫌っていたアルテミスの兄アポロンの策略で、アルテミスはオリオンを射殺してしまいます。悲しんだアルテミスは、ゼウスに頼んでオリオンを自分の通り道（白道）の近くにおいてもらいました。

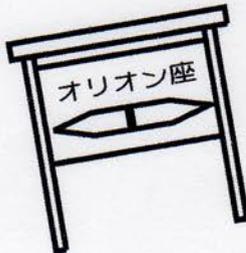
別の神話では、オリオンが自分を地上一の強者と豪語したため、ヘーラ又は大地の女神ガイアの怒りを買って、女神に送られたサソリに刺されてあっけなく死んでしまったということです。こちらはオリオン座がさそり座の正反対の位置にあり、決して同じ空に昇らないことを示唆した神話です。

オリオン座は、このほか多くの地域で腰に帯かベルトをつけた巨人の姿とされていますが、全く違った見方をした民族もありました。

例えばペルーのチム族では、オリオンの真ん中の星 ϵ を犯罪者、その両脇の δ と ζ は犯罪者を捕らえている武装兵、三つ星を囲う $\alpha \cdot \beta \cdot \gamma \cdot \kappa$ の4星は犯罪者をむさぼり食うためにやってきたコンドルの姿と見ていましたし、中国では大きな人の下半身の一部、マーシャル諸島ではタコ、ボルネオ島のダヤク族では動物を捕らえる罟と見ています。

これらの神話や星の結び方については、またいつかの機会にゆっくりお話しすることにいたしましょう。オリオン座の明るい星にはほとんど固有名がついていますので、今回も α 星から順番に見ていきます。

オリオンの右肩で赤く輝く α 星ベテルギウスは、0.0等～1.3等の範囲で不規則に変光する変光星。“巨人のわきの下”という意味で、アラビア語のイブト・アル・ジャウザ（白い帯をしたヒツジのわきの下）が語源です。分かりにくいですが、これが訛って“ベテルギウス”に変化しています。アル・ジャウザ（白い帯をしたヒツジ）は三つ星と $\gamma \cdot \kappa$ を呼ぶ古代アラビアの星座で、これに対し α と β はライ・アル・ジャウザ（白い帯をした羊飼）でした。



赤い α 星に対し、青白い β 星リゲルは0.1等。“巨人の左足”という意味のアラビア語、リジル・アル・ジャウザが語源です。古代詩の中にはアルゲバル、レゲル、リグロンなどという名で登場することもあったようです。

左肩の γ 星はリゲルと同じく青白い1.6等星で、名前はベラトリックス。ラテン語で女戦士という意味です。戦士オリオンを女性化した名前と考えられていますが、オリオンの母アマゾンの女王だったことに関係するのでは、という説もあります。

アラビア名はアル・ナジド（勝利者）で、アル・ムルジム・アル・ナジド（吠える勝利者）と紹介されていることもあり、自分の存在を主張して、又は明るいろリゲルが昇ってくることを予告して吠えるライオンの姿だということです。またアマゾンの神話では、ベラトリックスはカヌーに乗る少年の姿。占星術では、この星の下に生まれた人は偉大な運命を持ち、特に女性は雄弁な舌を持つのだそうです。

次に、三つ星を一つずつ見てみましょう。三つの星には各々、星座上の位置“帯”に関係する名前が付いています。

まず一番西の、 δ 星（2.2等）ミンタカ。“巨人の帯”という意味のアラビア語、アル・ミンタカ・アル・ジャウザが語源です。この星は天の赤道のほぼ真上にあるため、真東から昇り真西に没する星として知られます。

三つ星の真ん中 ε 星（1.7等）はアルニラムといい、“真珠の帯”という意味のアラビア語、アル・ニラムが語源。もともとは三つ星全体を指す名前でした。

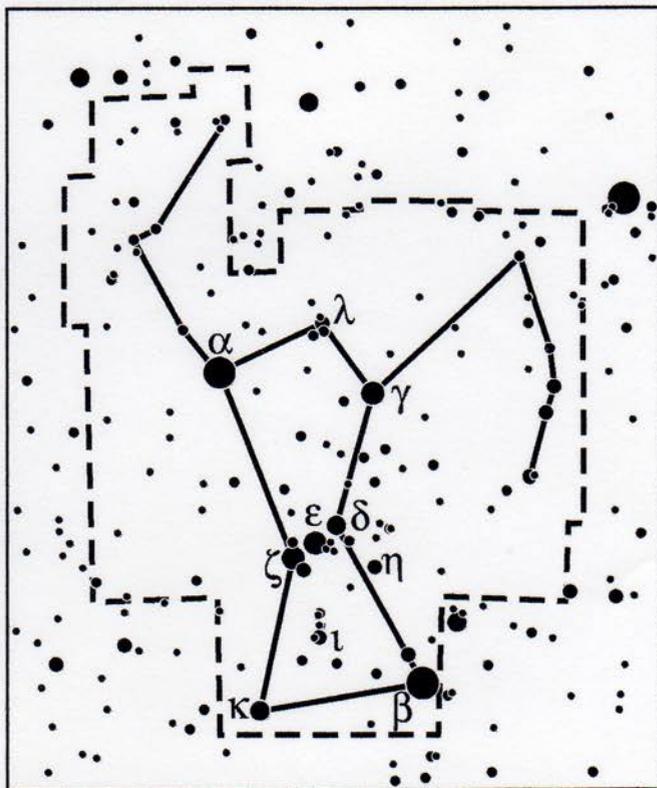
そして一番東側の ζ 星（1.8等）は、アルニタク。語源は“帯”という意味のアラビア語アル・ニタクです。

このほか、オリオンの右足 κ （2.1等）と三つ星の南西にある η （3.4等）には、同じサイフという名前が付いています。この名は“巨人の剣”を意味するアラビア語、サイフ・

アル・ジャバルが語源で、元はオリオンの剣 θ ・1・42番星を呼んだ名前でした。

その剣の真ん中の星、 ι （2.8等）には、アラビア語で“剣の中の明るい星”という意味のナイル・アル・サイフという名が知られています。ハチサという固有名が紹介されている場合もありますが、この名の語源は不明です。

最後にオリオンの頭、 λ 星（3.4等）。メイサ又はヘカーという名が知られますが、どちらも“光る星”という意味のアラビア語、アル・マイサンが語源。ふたご座 γ （アルメイサム：意気揚々と行進するもの）の名前が変化してこの星の固有名になったということです。



すごかった！ しし座流星群

熊本県民天文台のホームページを愛読している方からのメールと画像です
(ご本人の了解を得て、星屑に紹介させていただきます)

こんばんは、初めてのメールさせて戴きます。

貴天文台は「星ナビ」誌上で、ご活動を知りました。

私は熊本市出身で現住所と氏名は、神戸市東灘区の平本和人（ひらもとかずと）61才で、天文ファンです、よろしくお願ひ致します。

ところで先月のしし座流星群は、絶好の快晴で流星嵐を堪能出来ましたので、遅まきながらご報告させて戴きます。

私は高校の42年ぶりの同窓会等で、11月16日-30日まで熊本の実家に行って来ました。小型三脚等持込み準備して、観望および撮影を楽しみました。しし座流星群の写真は、カラー12コマ中で3枚BW36コマ中で2枚がまあまあで、家内が神戸の自宅でHI8ビデオで2時間で20個の、撮影結果となりました。私はオリオン座を狙っていましたが、大流星で良いのは添付の写真だけでした、魚眼レンズでないとなかなか難しいですね。

..... しし座 大流星 観測 データー 2001.11.19. 快晴.....

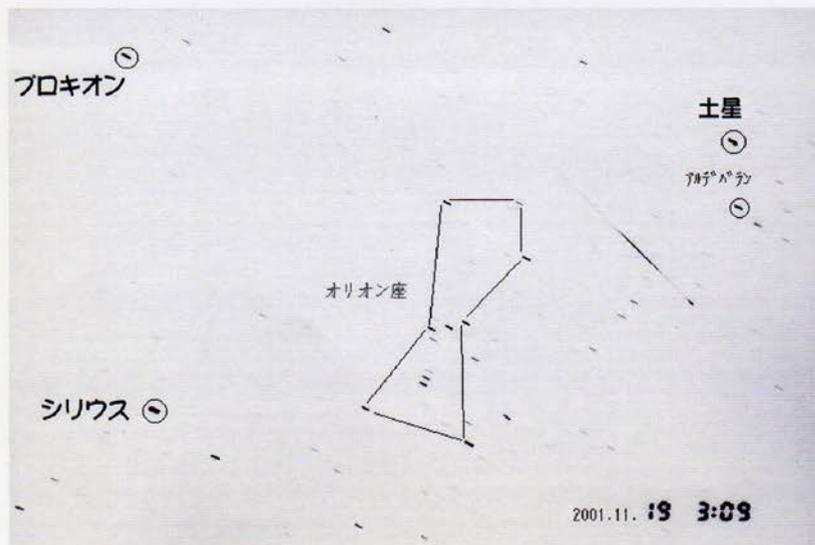
撮影場所：熊本市松尾町上松尾、実家南側の庭（熊本市は北緯32.47' 東経130.24'）

観測時間：AM2：00・6：15分まで4：15分間で981個確認（南側のみで北側見えない）

ピークは.....AM3：35・3：50の15分間で 100個確認

画像は.....文字と星座線はパソコンで入力（原版は白黒スキャン）

固定撮影：ペンタックスmz-7 28・105mm、28mmでf4.5開放、3分露光、三脚使用
フジネオパン400プレスト



以上です、では今後共
熊本県民天文台と会員
の皆様のご発展とご活
躍を期待致しています。

「オリオン座を通過する
大流星」

E-mail：fwgj7431

@mb.infoweb.ne.jp

考えてみると、天文趣味人として自己紹介するような実績も経験もさっぱりありません。いや、寂しいものです。高校生の頃に太洋デパートの眼鏡売り場に置いてあったチラシで熊本天文研究会の発足を知り、入会しようと思ったけれど当時の博物館の場所を知らず、結局入会できなかつた頃から30数年、天文台になるときに入会してからさえも20年近く経ってしまいました。その間何もしてこなかつたけれど、年だけは取つたので思い出に残っている天体や天文現象を羅列して自己紹介にかえさせていただきます。

- 1) 小学校に入った頃、本渡の自宅の縁側で見た北から東へ流れた流星。
- 2) 各自3合の米を持って参加した5年生、垂玉温泉での林間学校で先生に教えてもらった白鳥座と夏の大三角。
- 3) M31までの距離は言えても、アンドロメダ座がどこにあるかは知らなかつた6年生の頃、悪くなりつつある視力で見つけたプレアデス。
- 4) 小学5年?の科学の付録の「40倍天体望遠鏡」で、中学1年になり初めて見た月のクレーター。
- 5) 中3の時、小遣いを貯めて買った、カートン8.4cmフリーストップ反赤で初めて見た木星とガリレオ衛星。
- 6) 高校1年の夏休み初日、白黒テレビで見た月を歩く人間。火星まであと少し、と思っていたのですが。
- 7) 高校2年の春休みの早朝、玄関を開けたら目の前に輝いていたベネット彗星。
- 8) 高校3年、自作(鏡は足立光学)の15cmで見た火星の大接近と黄雲の発生。
- 9) 大学4年の春、東の空に尾をたなびかせていたウエスト彗星。
- 10)'83年、やけにぼんやり大きく動きの早いIRAS・アラキ・オルコック彗星。
- 11)'83年6月8日。ジャカルタの空港で飛行機を降りるときに見えた南十字とケンタウルス座 α 、 β 。
- 12)'83年6月11日、ジャワ富士の上に輝くコロナとダイヤモンドリング。
- 13)'85年春、新婚旅行先のハワイで見た、椰子の木陰のカノープス。
- 14)'85年秋、5年前に自分で磨いた10cm鏡で見つけたハレー彗星。
- 15) いつだったか、天文台の31cmで見た冥王星、正午過ぎに肉眼で見た金星。
- 16)'94年7月18日、SL9の木星衝突痕。嘩然としました。
- 17)'95年、輪のない土星と多くの衛星。
- 18)'96年3月25日、東京、大井町駅前で肉眼で見た情けない百武彗星
- 19)'97年3月30日、北外輪で3人の子供達と見たヘール・ボップ彗星。
- 20) 先日の獅子座流星雨。

若い頃の思い出話をくどくど言うようになると、おしまいだな....。

12月の県民天文台 ～運営日誌より～

開台率 10日/12日=83.3% 一般来台者数 30名 会員来台 63名

日付	天気	来客数	担当運営	記事
1日(土)	はれ くもり	なし	中尾(の)、 鹿釜、松本	はれたり曇ったり…月も大きくて空が明る い…。お客さんもナシです(中尾)
2日(日)	晴れ	なし	艶島、中尾富 松本、小林M 高田	リニア彗星、土星(中島) リニア彗星(小林J) 防犯灯のテスト、I電気の製品がベストと の結論。きゅうずに紅茶が残っていました。 使った人はちゃんと片付けましょう。 熊本市の村上さんから11月24日一般公開 の際の御礼の手紙がきました。(高田)
6日(木)	曇	3名	Tsu、松本	防犯灯のテスト M社製1機種、I電気製2機種 I電気製は上方光束が抑えられていて良 かった。ただ、役場の選定がどうなるか？ (役場の人の話だと、町長さんは夜、町内 を車でまわって、照明を点検したらしく 「あそこここは対策が必要！」などと指 示されているそうです。(Tsu)
7日(金)	はれ	6名	西嶋、小林J、 山田、中尾の	火星、土星、木星、すばる、リニア彗星、 M42、リゲル、M15(中尾の) ほうき星の観測(小林J)
8日(土)	はれ	3名	鹿釜、中島、 中尾の	土星、木星、M42、すばる 11/24に来られたお客さんが再び来台。子 供さんに「募金してきた？」と聞かれ、募 金し忘れたのが心残りで来られたとか。な お、この方からはお礼状とクオカードまで 頂いています。(中尾の) ↑お土産として、星屑と写真差し上げまし た(松本) Talk About 艶島、中島、小林J、小林M、西嶋、影山、 有馬、立川、鹿釜、松本、平井、中尾の
9日(日)	晴	4名	Tsu、松本	土星、火星、ベテルギウス、リゲル、アル ビレオ、木星、M42 熱心な家族だった。プロキオンとシリウス が昇ってくるのを見ようと、寒い中で頑張 っていました。いろいろ解説したので喜ん でくれました。富永氏来台。(Tsu)
15日(土)	はれ	0名	艶島、小林M、 小林J、西嶋、	運営委員忘年会。おいしい鍋とお酒♪(中 尾の)

			徳尾、松本、 中尾の、鹿釜	
16日(日)	晴 くもり	3名+熊 大天文 部9名	艶島、小林J、 松本、西嶋、 小林マ、徳尾 鹿釜、土山	昼の部：午前10時から午後5時まで天文台内外の大掃除。大変きれいになりました。これで20周年目を迎えられます。(小林マ) 夜の部：こんな天気が悪い日に親子3名甲佐より来られましたが、見せてあげることができず残念です。来週出てこられるそうです。(松本)
22日(土)	◎/○	2名	松本、鹿釜	午後8時、来台者もなく天気悪い為、帰り支度。玄関を閉めて空を見るとみごとな天気。この天気で帰れるわけなく、天文台開ける。しかし本日、非常に寒いです。本年最後の土曜の運営でした。熊大天文部2名、こぐまの流星群を楽しんで下さい(松本)
23日(日)	曇	0名	高田、Tsu	本年最後の運営(日曜)と、曇があっても来てみたら、完全に曇られてしまいました。(高田)
28日(金)	くもり 晴	0名	中島、松本、 中尾の、徳 尾、艶島	晴れたり曇ったり、また晴れたり…変なお天気今年での公開日は終わりです。結局、「ハムナプトラ2」を楽しんで終わった…みなさまよいお年を！(西嶋)
30日(日)	はれ			中島、中尾富、Tsu氏 ロシアの人工衛星が見えるので観測してほしいとの依頼あり。2人で観測→結局見えなかった。Tsu氏も観測するも見えず。今年最後の観測か…(中島)
31日(月)	はれ？ くもり	12名 なし	中島、鹿釜 艶島、小林M、 高田	越年ビデオ鑑賞会。 中島、中尾Tommy、艶島、富永 天文台に新しい(中古の)スピーカーが入り、大幅にグレードアップ。ちょっといいかも。日本酒1升、ビール、最後に秋の露。初もうでに行く。N氏の幸多からんことを祈ってエールをおくる。大きい声でちょっと恥ずかしかった。今年もやっぱり男ばっかしの年越しだった。いつまで続くのかな～！！(中島)

天文台にも多くの方から年賀状を頂き、ありがとうございました。
本年もよろしくお願い致します。

お正月は如何でしたか。それにしても大雪はびっくりしましたね。まあ熊本市内は積もらなかったんですが、大津あたりでアイスバーン状態がチラホラ。立野付近になると、もうスッテンコロリンの車が続出。もう大渋滞でした。世のお父さん達は、大変ですね。こんな時は動かないのが一番。私のお正月は布団で冬眠していました。なんだかな～。

☆H13年度分の会費納入をお願いします。正会員8000円 友の会会員5000円☆

☆2月の天文現象&行事☆

- 3日(日) 節分 6/d' Arrest彗星が近日点通過(周期6.5年)
- 4日(月) 下弦(22:33) 立春(りっしゅん…春の始まり。前日の節分は厄払い)
- 5日(火) アルゴルが極小(18:30)
- 6日(水) さそり座β星の星食(2.9等 05:21)
- 7日(木) おおぐま座Sが極大(周期226日 7.1等~12.7等)
- 8日(金) 小惑星ジュノーがうみへび座で衝
- 9日(土) トークアバウト(20:00~ 天文台にて)
- 12日(火) 新月(16:41) 旧正月
- 14日(木) 天王星が合(5.9等 視直径03.3")
- 19日(火) 雨水(うすい…雪や氷が陽気に溶け天に昇り、雨水となって下るの意味)
- 20日(水) 上弦(21:02) 小惑星ベスタの食(8.0等 23:15) 北海道のみ
- 22日(金) 水星が西方最大離角(26°35.3' 0.1等 視直径06.9")
- 24日(日) 土星が東矩(0.0等 視直径18.5" 環視長径41.9")
- 25日(月) アルゴルが極小(20:15)
- 27日(水) 満月(18:17)
- 28日(木) 月の距離が最近(356896km 本年最近)

熊本県民天文台機関誌 「星屑」 2002年2月号 通巻323号
 発行所 熊本県民天文台事務局 〒861-4226
 熊本県下益城郡城南町塚原古墳公園内 熊本県民天文台
 TEL 0964-28-6060
 振替口座 01980-0-24463
 熊本県民天文台事務局 担当 中尾 富作
 ホームページ <http://astro.magma.ad.jp/>